

## 授業科目 人間発達学

【担当教員名】 伊藤 加代子		対象学年	2	対象学科	理学・作業・義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 人間は、生涯、発達する存在であるとの観点から、人間を生物学的、社会学および心理学的に理解することを目標とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人間の発達を生物学的に理解する 2. 人間の発達を社会的に理解する 3. 人間の発達を心理学的に理解する					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人間発達学総論 人間発達学の研究方法・発達の一般原理			1	講義
2	身体発達 運動機能の発達			1	講義
3	認知機能の発達 感覚・味覚・嗅覚・触覚・視覚・聴覚・パターン認知・記憶・言語			1, 2, 3	講義
4	情緒と社会性の発達 大脳機能・情緒とは、家族とつづけ、学校と社会性			2, 3	講義
5	パーソナリティの発達 乳児期・幼児期・学童期			2, 3	講義
6	青年期 ホルモン・体格・第二性徴・両親異性との関係			1, 2, 3	講義
7	成人期 老年期			1, 2, 3	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	2008・2,950円＋税
参考書		生涯人間発達学	上田礼子	三輪書店	3,990円＋税
その他の資料					
【評価方法】 記述試験および出席			【履修上の留意点】 出席が3分の2に満たない場合は、試験の受験資格がないものとする。ただし、教員が認めた場合は、レポートを課して出席とみなすこともある。		